

バグダッド 日誌 (6月16日)

○サマーワあつてのバグダッドを実感

6月13日、MNC-I副司令官 [] のサマーワ視察に [] と [] が同行した。この訪問の調整の段階から群長が直接バグダッドに電話して下さり、バグダッドで不足して困っているものがないかを確認してくれた。群長は各国の連絡幹部を統括するコアリション・オペレーション前部長 [] が帰国される際、フェアウェル・パーティーの贈り物で我々が困ったことをすでに承知されており、VIP用の記念品やコアリションLOへ任務終了時に渡すためのメダル等を沢山持たせてくれ、本当に有り難く思っております。

またサマーワから、煎餅・赤飯・サンマの缶詰・スルメ等絶対ここでは手に入らない日本食を段ボール一杯に準備してくれた。マルタイの即席生ラーメンまで入っており、何か良いことがあった時に皆で食べようと今から楽しみにしている。更に6月12日に実施されたワールド・カップ・サッカーの日豪戦のビデオをサマーワ広報が準備してくれ、昨日皆でビデオ観戦し、当日の興奮を味わうことが出来た。特に国歌斉唱のシーンは目頭が熱くなるほど感動した。

さて、肝心のサマーワ訪問は、大成功で [] が直々に私を呼び感謝の言葉をかけてくださった。[] はイラクにあるすべてのキャンプを視察し、サマーワが最後の訪問地であった。少将曰く「お世辞ぬきに、サマーワの訪問は最高であった。サマーワ宿営地の施設・装備等も素晴らしかったが、なにより日本人のホスピタリティに最も感動した。」と両手で私の手を握り、くれぐれも群長に宜しく伝えて欲しいと言っておられた。この場をお借りして紹介いたします。

多国籍軍司令部内でのサマーワ宿営地の評判はすこぶる良く、あまり顔をよく知らない将官・大佐から「次はいつサマーワ訪問があるの？」と唐突に聞かれることがある。どうも便乗してサマーワを訪問してみたいようだ。

ともあれ [] の訪問(6月9日)に引き続く多国籍軍からの訪問で、サマーワの皆様には準備等大変であったと思います。本当にどうも有り難うございました。サマーワの良い噂で、またまた我々バグダッド連絡班は鼻高々です。